

富士河口湖町立 教育センターだより

No.11

平成30年9月 7日

文責 渡辺 富美夫



やったー！日本最高峰富士山剣ヶ峰に立つ！



ふじびん

第7回 町富士登山事業

富士登山事業は、「富士登山を中学三年生までに経験させることで、郷土愛を育み、心身ともに健康な子どもの育成を図る」という目的で、町主催で行っているものです。今年は、7回目となり、8月1・2日、町内の小学校6年生、中学生24名及び引率の先生方・役場職員・登山ガイド・看護師の方々11名、総勢35名が参加しました、



中央公民館で、町長、教育長から激励の言葉を受け、まずは、宿泊場所のトモ工館を目指して元気に出発しました。好天に恵まれ、翌朝は、素晴らしい御来光に一同感激。自然に拍手が出ました。世界文化遺産の富士山頂に立つことができた子ども達。友情も芽生え、生涯忘れることのない感動・感激・感謝・達成感を得たのではないのでしょうか。 **すばらしい感想のごく、ごく一部です。感想文集は、作成中です。**

「ちゃんと登れるかな。」「前日、ほくはワクワクしていました。」「登ってみるととても大変でした。でも、歩いているときの景色がとてもきれいでした。」「高山病になってとてもつらかったけど友達が励ましてくれてうれしかったです。」「初めて富士山に登って達成感がありました。毎日下から見ていた日本一の富士山は登ってみて改めてすごいと思いました。」

安全・安心・おいしい給食のために

給食調理従事者
研修会 8/20

県スポーツ健康課主幹・指導主事の今村久美子先生を講師に、町教育委員会主催の給食調理従事者研修会が行われ、38名が参加しました。今回は「学校給食への異物混入防止のために」という内容でした。

「異物混入」という事故についての研修でしたが、「ハインリッヒの法則」（右図）と「発生の防止こそ最大の対応である」ということを様々な事例を交えながらお話していただきました。300のヒヤリという事象を0にすることを目指し、給食開始に備えることを確認し、終えました。感想の一部を紹介します。「改めて毎日の給食調理にあたり「安全」「安心」「思いやり」を忘れず、衛生面及び異物混入等に日々心掛けて、仕事に励みたいと思いました。」「2学期からも今日の

ハインリッヒの法則



研修のお話を参考に、細心の注意をはらいながら安全安心おいしい給食を作っていきたいと思います。」

学校の給食をいただく児童生徒・教職員は、給食に、調理に携わる多くの人々の、日々の目に見えないところでの努力が込められていることを再認識し、感謝をもって残さずに味わいたいものです。

自分から
進んで

がんばった夏休み学習応援教室

わからないこ
とは質問して

今年は暑い夏で大変でした。その暑さに負けず、夏休み学習応援教室にたくさん子どもたちが参加しました。（参加人数397人、延べ人数1663人）



学習応援教室は、町教育委員会が実施し、指導者は町費負担教員、有償ボランティアとして退職教職員、山梨大学の学生ボランティア(今年度から)で行っています。今年3年目となりましたが、子どもたちは自分で課題を持参して、その課題に黙々と取り組んでいました。指導者に積極的に質問する姿も見られ、主体的に学習に取り組む姿が育まれていることを感じます。